

事務事業 No./名称	■サービス部門 都整-44 維持管理費(雨水) □支援部門				ザイムスコード及び個別事業名		
					538	維持管理費	
主管課	浄化センター	関連課	下水道課・総合防災課		1263	維持管理費	
分野名	下水道・河川						
目標 (目標値)	雨水排水施設の維持保全により溢水から市民の生命・財産を守る						
人口等の データ	データ区分	21年度	20年度	備考			
	人口	176,669人	176,484人	・各年4月1日 (住民基本台帳)			
	世帯数	78,131世帯	77,430世帯				
運営資源 状況	決算値	16,481千円	78,273千円				
	(国・県)						
	(負担金等)						
	(一般財源)	16,481千円	78,273千円				
	人員配置数	0.5人	3.4人				
	人件費	4,469千円	30,715千円				
	協働の パートナー	神奈川県・横浜市	神奈川県・横浜市				
事務事業 運営経費	総事業費	20,950千円	108,988千円	20年度			
	市民1人当 りの経費	119円	618円	21年度			
	対象者1人 当りの経費			22年度			
				23年度			
ベンチマー ク(県内外自 治体や民間 団体との比 較値)	団体名						
創意・工 夫・課題等 改善状況	課題・問題 点	(21年度事務事業を実施するうえでの課題・問題点は、どのようなことでしたか)					
	創意・工 夫・課題等 の改善点 21年度の 成果	(課題・問題点についてどのような創意工夫、改善をしましたか。また、どのような成果がありましたか)					
	未解決の課 題・問題点	・抜本的な浸水被害の解消には、内水対策として雨水調整池・貯留槽の設置が必要であるが、用地確保や国庫補助の取得など課題がある。					
	今後の方針 (対応・改 善)	(上記対応できなかった課題・問題点について今後どのように対応(改善)していきますか) ・浸水地域を対象に策定した「鎌倉市下水道総合浸水対策計画」を基本に、効果的な雨水整備を進めていく。					
一次評価(課長評価)			二次評価(部長評価)				
A:充実又は拡大 B:現状のまま継続 C:統合又は縮小 D:廃止又は休止 E:事業完了							
評価結果	改善の必要性	・近年の都市型水害からの被害を低減させるために、「鎌倉市下水道総合浸水対策計画」を基本とし、雨水排水整備を積極的に進める。		評価結果	改善の必要性	・「鎌倉市下水道総合浸水対策計画」を基本とし、浸水被害の解消・軽減に向けた整備に取り組んでいく必要がある。	
A	有			A	有		
課長名		浄化センター所長 原 秀広		部名・部長名		都市整備部 山内廣行	